

早く、しっかり治す

急性期

▶入院後1週～4週

- 身体的回復と精神的安定
- 対象者との信頼関係の構築

回復期

▶入院後5週～8週

- 病状安定による生活範囲の拡大
- 治療プログラムへの能動的参加
- 自己コントロール能力の獲得

退院準備期

▶入院後9週～12週

- 外出や外泊の実施
- 社会生活能力(服薬管理、金銭管理等)の回復
- 再発予防技術の獲得

明確な根拠にもとづく医療

当院では、入院から退院に至る全プロセスにおいて、複数の職種スタッフが参加するカンファレンス(検討会)で多面的に評価し、医学的根拠に基づいて治療を進めています。

- 診察・検査及び身体合併症の確認
- 医師の面談を基礎にした個別精神療法の実施
- 薬物療法の実施(効果判定、副作用チェック)

- 自己対処能力、問題解決能力の向上に向けた日常的援助(認知行動療法、疾患教育)

- 患者自身が再発の危険サインを理解し、対処法を習得するための支援

パートナーシップ医療

患者様とご家族、当院スタッフが、患者様の症状と治療方針を理解しあい、互いの役割と責任を分担しあいながら治療を進めます。

- 患者および家族への病状説明
- 治療計画の説明と同意への努力

- 言語的コミュニケーションによる表現能力の回復および対人関係の改善に向けた援助

- 退院後の社会生活上の不安への対応と、解決策についてのアドバイスの実施

社会復帰プロセスの重視

当院では、いち早く「地域生活支援部」を独自の機能を持つ組織として設置。退院前準備は、治療部門と地域生活支援部が協力して患者様の退院後の生活環境作りを支援しています。

- 入浴介助、食事介助、清潔の保持支援
- 家族への心理的サポート

- 服薬管理と服薬教育
- 外出に同伴しての、個々の患者に応じた社会生活技能訓練の実施

- 退院前訪問等による生活環境の確認と、適応能力の強化支援

地域連携の強化

他病院との提携関係の強化をはじめ、保健所、市町村の関係機関や、作業所などとの連携を強化し、地域ぐるみで患者様の治療と社会復帰を支援する仕組みづくりを追求しています。

- 社会保障等の継続手続き、家族への各種援助相談
- その他の生活・経済問題等に関する相談と支援

- 家族教室等の実施
- 社会復帰施設や福祉制度の紹介等、社会復帰プログラムの実施

- 退院後の必要施設、制度等、社会資源の活用についての具体的アドバイス